



紀和ニュース

(伊賀の里からの便り)

2016年(平成28年)1月15日
第24号

1、はじめに

新年を迎え厳粛な気持ちと幸福感また仕事からの解放感を共有したお正月から普段の生活リズムにそろそろ戻られていることと思います。

昨年12月には、5年前に打ち上げられましたが軌道制御エンジントラブルで金星の周回軌道にのせる事に失敗した金星探査機「あかつき」が、関係者の長期間にわたる種々の努力によって、設計寿命を超えた状態でしたが、本来の目的以外の姿勢制御エンジンを使って奇跡的にも5年目にして金星の周回軌道にのせる事に成功したと報道されたことは日本のものづくりの実力とあきらめられない気持ちを多くの人に示せたと大変喜んでいます。

一方、海外ではこの話題は大きく取り上げられていない事を海外に住んでいる人との会話で知りました。これは日本の情報発信力が低いため、日本の力を知ってもらう事ができないようで非常に残念に思っています。何事にも遠慮がちな日本人ですが、このようなすばらしい情報を世界のもっと多くの人々に知ってもらうため、日本の発信力をもっと高める必要が有ると感じました。

こんな思いを強く持っていたためでしょうか、「今年のJIMTOFでは日本製工作機械(もちろん弊社製品も含め)がこれまでに増して高い評価を受ける」という初夢を見ました。弊社においても「あかつき」のスタッフと同様に、この初夢を夢とせず現実のものになるように継続する努力によって製品の評価を高めるようにしていきたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

代表取締役社長 西井 幸司

2、横形マシニングセンタ Triple H40

弊社はマシニングセンタの製造販売だけでなくお客様のご要望をお聞きして、弊社製造機の改造、治具製作、搬送装置等までのトータルソリューションを提案させて頂いています。

Triple H40はコラムトラバース構造の利点を生かして、テーブルサイズ500角のテーブルを搭載した5軸加工によりワンチャッキングでの加工や4mのワークを付加軸で多面加工し且つ自動搬送装置による連続加工、また、1500mm長さのワークを水平180度回転させての端面加工ができるシステムを搭載した機械、テーブルトラバースでは搭載が難しいチルト・ターン方式の治具を搭載した機械等多くの実績を積んできました。今後益々重要視されるステップレスのラインにも容易に対応できます。

コラムトラバース型立形マシニングセンタTriple V22と合わせて、お客様の様々なご要望にお応えできるように技術力を高めてまいります。

3、EMO MILANO 2015 ご報告

去る10月5日から10月10日までの6日間、イタリア・ミラノにてEMO MILANO 2015(欧州国際工作機械展示会)が開催されました。

東京ビッグサイトの約4倍の展示場面積を誇る会場のFiera Milanoには、世界各地から1,600社が出展し、合計来場者数は15万人を越えました。

弊社は、全軸コラムトラバース型横形マシニングセンタ Triple H40と、高速横形マシニングセンタ KH-4500の2台を展示いたしました。

Triple H40

コンパクトなボディに剛性の高い主軸やアームレスATCマガジンを備えたこのモデルは、コラムトラバース構造を生かして、フレキシブルな治具・付加軸設計が可能です。

会場では、500x500mmの4/5軸円テーブルや旋削テーブルを搭載したTriple H40の動画も放映し、お客様の注目を浴びていました。

KH-4500(6面APC付き)

早送りXYZ軸74m/分、B軸66.6min⁻¹、高速APCなどを備えたこのモデルは、タッチパネルの採用でさらに使い易くなった6面APC装置を取付けて展示いたしました。非切削時間を少なくする高速性能や、6面APC装置によるスケジュール運転が好評でした。

弊社ブースの様子



KIWA Japan

株式会社 紀和マシナリー

〒518-0752

三重県名張市蔵持町原出522-51

TEL: 0595-64-4758

FAX: 0595-64-7529

E-mail: sales@kiwa-mc.co.jp

URL: <http://www.kiwa-mc.co.jp>